

環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国500カ所)」に「八千代市ほたるの里」が選ばれました！

ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第57号 2018年10月



ほたるの里



ヤマボウシ



コナラ



スタジイ



ザクロ



シロスジ
カミキリ



ノコギリ
クワガタ



ミツバアケビ

アケビコノハ



トチノキ

Scro

ほたるの里の秋

(絵：森)

ホタルもヒトもかがやくまちに！！ 平成30年度ホタルメイト登録団体・事業所

(平成30年10月1日時点)

石井食品株式会社 共栄物流株式会社 株式会社 A Kid's ☆garden CAC スイミングスクール勝田台
有限会社ふれあい総合企画 有限会社綿貫自動車サービス NPO法人高齢者福祉ネット
NPO法人子どもネット八千代 ガールスカウト千葉県第57団 米本団地自治会 コーヒー・プラス (敬称略)

ほたるの里20周年記念講演会 「身近な生き物と私たちのつながり～不思議、発見、楽しみ～」 開催

日 時：平成30年9月17日（月・祝） 13：30～15：30 参加者：40名
会 場：やちよ農業交流センター第1・2研修室 主 催：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

《プログラム》

13：30 開会挨拶

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 会長 金室 彰

13：35 ほたるの里20年ふりかえり

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 副会長 桑波田 和子

14：00 記念講演 「身近な生き物と私たちのつながり～不思議、発見、楽しみ～」

講師 佐々木 洋 氏（プロ・ナチュラリスト）

15：30 閉会挨拶

八千代市安全環境部環境保全課環境政策室 室長 高倉 歩



《講演会の内容》

金室会長は、ほたるの里は、市民・企業・行政などのグラウンドワーク方式で、活動してきました。今20年経ち、多くの方の支援・協力をいただき感謝しています。生き物も当初に比べると多様な種類の生き物が増えてきています。これからの里は、自然や生き物と触れ合う場として、シンボルのヘイケボタルの自生を目指し多様な生き物が棲める環境づくりを継続していくので、ホタルメイトをはじめ、多様な主体のご協力をお願いしたいとの挨拶でした。

桑波田氏の「ほたるの里20年ふりかえり」は、里の大きな事業などの写真を通しての説明でした。トンボ池から見た20年前のほたるの里は、草木もまばらで、土が露出していましたが、現在は緑豊かな景観となり、生き物が棲みやすい環境が整ってきました。また、環境整備、ホタルサミット開催、学校やガールスカウト、ボーイスカウト、おや子生き物探検隊などの体験活動、講演会など内外の活動を展開してきた様子が見えました。このような継続した生き物のための里づくりが評価され、平成27年、「生物多様性の保全上重要な里地・里山」（環境省）に選定されました。今後は、生物多様性の里として、市民の学び、体験できる場として提供していきます。

記念講演会の講師佐々木氏からは、20年継続している団体は多くはないとほめていただきました。トンボを捕まえる時、指を回したら効果はあるの？のクイズで会場が和やかな雰囲気漂い、参加者と一体になった講演会となりました。アブラコウモリが増えているのは、冬にもエサとなる蚊がいること、セミが

夜鳴くのは夜の闇がなくなっている、カルガモとマガモが交雑してハイブリットガモが生まれる背景には、人のエサやりに関係している。シンガポールから世代を変えながら日本のお盆のころ飛んでくるウスバキトンボは、気温が4度で全滅するが、温暖化が進めば定着するなど、現在の生き物の異変などをお聞きしました。

会場には、高校の生物部員も参加して、講師のクイズに積極的に答えてくれました。また、会場からも質問があり、日ごろ生き物と触れている方、指導者として関わっている方などにも大いに参考になりました。アンケートからは、身近な生き物への関心がぐっと高まったとありました。

高倉室長は、ご自身が役所に赴任して初めて取り組んだ事業の一つが、ほたるの里だったそうで、ほたるの里の設立前、ホタルの飼育など事業としてのかかわりなどについて、お話されました。ほたるの里へ、市民、企業、ホタルメイトの方々のご支援・ご協力を今後もお願いしたいと挨拶されました。



《参加者》

会場には、ホタルメイトで20年間支援していただいた方など懐かしい顔もあり、再開の笑顔がありました。

（文責：広報部会）

おやこ生き物探検隊開催中です！

5月に活動をスタートした「おやこ生き物探検隊」の2回目を7月20日（金）「夏の夜の生き物」の探検を行いました。

午後6時30分、やちよ農業交流センターに集合（参加者：親子15人）、福士先生、山崎先生から、夏の夜の生き物、昆虫採集に用いるトラップ（野村式ホイホイ…ペットボトルで作ったもの）やホタルの生態等についてのお話を聞いた後、新川沿いを「セミの幼虫が木に登る姿」、「カエルや虫の鳴き声」を聞きながら、子どもたちは心を弾ませ「ほたるの里」へ向かいました。

「ほたるの里」では「里に生き物を持ち込まない、持ち帰らない」というルールの説明を受け、講師が前もって仕掛けたトラップを開けるとカブトムシ、クワガタ、カナブン等たくさんの生き物が掛かっており、子どもたちは目を輝かせていました。



「どこにどれ？どんな生き物がいるかな？」

当日、ホタルの飛翔が見られなかったのは残念でしたが、「ほたるの里」からの帰り道に羽化したばかりの「白く透きとおったアブラゼミ」の姿を見て、再び参加者全員で感動に浸ることができ、楽しい夏の夜の生き物探検になりました。

終了後、子どもたちは、講師が持参した「クワガタ」をもらい、うれしそうに帰って帰りました。

9月15日（土）午前9時30分から3回目を実施（参加者：4家族11人）。

当日はほたるの里で「秋の生き物」の探検の予定でしたが、雨のためやちよ農業交流センターで、福士先生や山崎先生が持参した生き物の写真や実物を見ながらのお話を聞き、山崎先生からチョウの鱗粉転写の説明を受け、チョウと食草のコメント入りポストカードを作成しました。子どもたちはもちろん、特にお父さん、お母さんが感動していました。



↑ 集中、集中！鱗粉転写体験
（文責：ホタルメイト 坂本）

ホタル飛翔調査を実施しました

ほたるの里では、かつて里の周辺で飛んでいたヘイケボタルの再生を願い、自生できる環境整備と、幼虫の放流をしています。実行委員会では、3年ほど前から、飛翔の数を調べ、どのくらい羽化したか期間を定めて毎日交代で調べています。特に今年は、例年開催していた夜の観察会をやめ、調査期間中に里の来訪者へホタルをはじめ、生き物の説明を実施しました。

今年は、6月25日（月）～7月31日（火）までの37日間で調査しました。最初にホタルの飛翔が確認できたのは6月29日（金）で6匹でした。この日からは毎晩ホタルが飛ぶ様子が見られ、最終確認ができた7月24日（火）までの26日間にわたり見ることができました。最も多く見られたのは7月7日（土）と9日（月）の11匹でした。

特に今年は、ホタルの幼虫の天敵といわれるアメリカザリガニの異常発生や、水を循環させているポンプの故障により、湿地が一時的に干上がってしまったため、ホタルの飛翔が心配されましたが、28年は7匹、29年は8匹でしたから、今年の11匹は例年より1.4倍ほど多く飛翔が確認できたこととなります。

ほたるの里ができて20年となり、ホタルが自生できる環境が整いつつあるのではと期待しています。

さらに、多様な生き物が棲める環境づくりを目指し、シンボルのホタルが自生し、自らの力で棲み続けられるように、試行錯誤しながら今後も環境整備を進めてまいります。

（文責：ホタルメイト 深澤）

ホタルを守ろう！ザリガニ釣り大会

暑さの続く8月18日(土)、毎年恒例「ザリガニ釣り大会」を開催しました。今年も、多くの家族連れ(小さいお友達も)が参加してくれましたが、とにかく当日は熱中症を心配したため、参加賞としてアイスを配りました。まさに「右手に釣竿、左手にアイス」で1時間、たくさんのアメリカザリガニを釣っていただきました。最後は、「ザリガニをたくさん釣ったで賞」と「でっかいザリガニ釣ったで賞」を表彰し、記念撮影をしました。

アメリカザリガニも、過去に人が持ち込んだ外来生物です。ホタルをはじめとする里の生き物にとって天敵となるため、今後も継続して捕獲していかうと計画中です。

さらに、ザリガニ釣り大会終了後は、10年前、滝口の傍に埋められたタイムカプセルを掘り出しまし

日時：平成30年8月18日(土) 9:00~11:00
参加者：46人 捕獲ザリガニ数：64匹

た。現れたのはプラスチック製の箱に入った瓶。その中には、10年の歳月を経て届けられるメッセージカード、約650枚が保管されていました。多少、水に濡れてはいるものの、カードはすべてラミネート加工されていたため、無事に読むことができました。あつという間の10年、時が経つ早さを実感しました。

(文責：広報部会)



↑ザリガニ見つけ!

↓タイムカプセル掘り出し完了



タイムカプセル

*掘り出しの様子はやちよニュースクリップ9月号(YouTube)に取り上げられました。

*メッセージカードは順次、返却しています。お心当たりのある方はぜひ、事務局までお問い合わせください。

今後のスケジュール (ほたるの里の掲示板にも随時掲載予定)

月 日	時 間	活 動 内 容	場 所
11 / 4 (日)	10:00~16:00	やちよ市民活動フェスティバル2018	フルルガーデン八千代噴水広場
11 / 10 (土)	9:00~12:00	環境整備・どんぐりを植えよう	ほたるの里
12 / 15 (土)	9:00~12:00	環境整備	ほたるの里
1 / 12 (土)	9:00~12:00	環境整備	ほたるの里
2 / 9 (土)	9:00~12:00	環境整備	ほたるの里
3 / 9 (土)	9:00~12:00	環境整備	ほたるの里

・・・ホタルメイト募集中・・・

- 平成30年度年会費(4月~翌年3月)
※登録期間は1年間。

個人 1世帯1,000円
市民団体・事業所 1口 2,000円

- 受け付け

市役所旧館2階環境保全課窓口やイベント、里の環境整備時。また郵便局からの郵便振替でも納入可(※)。

※郵便局でお振込の場合

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

振替手数料：ATM80円、窓口130円

【ほたるの里 連絡先】

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市役所環境政策室 内

Tel: 047-483-1151

E-mail: kankyuu1@city.yachiyo.chiba.jp

HP: <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/>

123508/page000009.html

【編集】 広報部会 事務局

※この里だよりは平成30年度 TOTO 水環境基金を頂き作成しました。

編集後記：20年を経たほたるの里は、周りの景観にもなじみ、生き物も豊かになってきました。これまでの感謝と、今後もホタルをシンボルとした生物多様性の豊かな里として守り・育て・活用しましょう。(広報部会)